



平成 20 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 7 月 13 日

上場会社名 **株式会社スギ薬局**

（コード番号：7649 東証・名証第一部）

（URL <http://www.drug-sugi.co.jp/>）

問合せ先 代表取締役社長 杉浦 広一
取締役管理本部長 山口 博久

TEL：(0566)73 6300

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有・無

2. 平成 20 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 2 月期第 1 四半期	57,438	11.1	2,748	31.5	3,025	38.4	1,698	74.7
19 年 2 月期第 1 四半期	51,713	-	2,090	-	2,186	-	972	-
(参考)19 年 2 月期	217,229	-	9,250	-	10,090	-	4,000	-

	1 株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 2 月期第 1 四半期	26	82	-	-
19 年 2 月期第 1 四半期	16	25	-	-
(参考)19 年 2 月期	66	91	-	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 期中平均株式数につきましては、平成 20 年 2 月期第 1 四半期は 63,328,909 株であります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期（平成 19 年 3 月 1 日～平成 19 年 5 月 31 日）における我が国の経済は、高水準で推移する企業収益と設備投資の増加に支えられ、景気は緩やかな拡大を続けております。

当社グループを含む小売業界においては、雇用者所得の改善が見られるものの、個人消費は弱めに推移し、また、雇用不足感が強まる方向にある等の厳しい状況のなかで、さらに競争が激化しております。

このような状況の中、当社グループは、当第 1 四半期も積極的な店舗展開を実施し、関東エリアに 3 店舗、中部エリアに 3 店舗、関西エリアに 6 店舗の計 12 店舗の新規出店を実施いたしました。また、不採算店舗等の統廃合やスクラップアンドビルドによる業態転換等を行い、10 店舗を退店したことにより、当第 1 四半期末の総店舗数は、512 店舗となりました。

当社は、平成 19 年 3 月 1 日を効力発生日として、株式会社ジャパンを当社の完全子会社とするための株式交換を実施しており、当社が保有する株式会社ジャパンの普通株式の比率は、前年同四半期の 50.1%から 100.0%となっております。

当該株式交換に伴うのれんは、負債の部に 8 億 18 百万円を計上し、5 年償却により今後営業外収益に年間 1 億 63 百万円を計上する予定であります。これにより当第 1 四半期においては、営業外収益 40 百万円を計上しております。

また、完全子会社化に伴い、前年同四半期に発生した少数株主利益（前年同四半期実績 1 億 79 百万円）の計上がなくなったため、四半期純利益が増加しております。

以上の結果、当第 1 四半期における業績は、売上高 574 億 38 百万円（前年同四半期比 11.1%増）、営業利益 27 億 48 百万円（前年同四半期比 31.5%増）、経常利益 30 億 25 百万円（前年同四半期比 38.4%増）、四半期純利益 16 億 98 百万円（前年同四半期比 74.7%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

ドラッグストア事業

主力のドラッグストア事業を営む当社（株式会社スギ薬局）においては、既存店の売上高が堅調に推移するとともに、販売費及び一般管理費の売上高比率が改善し、営業利益率が改善いたしました。

当事業の売上高は 397 億 23 百万円、前年同四半期比 117.8%となりました。これは 11 店舗の新規出店と、既存店売上高が前年同四半期比 107.8%と堅調に推移したことが主因であります。既存店売上高につきましては、関西エリアの既存店売上高が前年同四半期比 121.5%と高い伸びを示すとともに、店歴の比較的長い店舗が多い中部エリアにおいても、前年同四半期比 105.4%と堅調に推移しております。

当事業の売上総利益率は、28.0%と前年同四半期より 0.1 ポイント改善いたしました。これは薬剤師及びビューティアドバイザーによるカウンセリング販売を強化することにより、ヘルスケア・ビューティケアの売上総利益が改善したことが主因であります。

当事業の売上高に占める販売費及び一般管理費の比率は、22.4%と前年同四半期より 0.5 ポイント改善いたしました。これはコスト削減への継続的な取組みと、関西エリアにおける既存店売上高が好調に推移したことによる経費率の改善が主因であります。

以上の結果、ドラッグストア事業における営業利益は 22 億 18 百万円となり、営業利益率も 5.6%と前年同四半期より 0.7 ポイント改善いたしました。

ディスカウントストア事業

ディスカウントストア事業を営む子会社（株式会社ジャパン）においては、売上高は概ね横ばいに推移いたしましたが、収益性の高いドラッグストア商材を導入強化するなどの施策により、売上総利益率及び営業利益率は改善傾向にあります。

当事業の売上高は、退店等の影響により、全店売上高は 176 億 79 百万円、前年同四半期比 98.3% となっておりますが、既存店売上高の前年同四半期比は 100.3% となり、既存店の業績は徐々に改善傾向にあります。

当事業の売上総利益率は 20.0% と、前年同四半期より 0.1 ポイント改善しております。これは、品揃えの見直しや値入率の改善等への取組みが主因であります。

当事業の売上高に占める販売費及び一般管理費の比率は 17.1% と、前年同四半期より 0.1 ポイント改善しております。これは、コスト削減への継続的な取組み及び退店等により売上高に占める賃借料比率が改善したことが主因であります。

以上の結果、ディスカウントストア事業における営業利益は 5 億 12 百万円となり、営業利益率は 2.9%、前年同四半期より 0.2 ポイント改善いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年2月期第1四半期	107,923	61,431	56.9	970 08
19年2月期第1四半期	98,260	57,780	51.4	843 72
(参考)19年2月期	101,258	61,132	52.6	891 00

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第1四半期	5,301	609	455	23,920
19年2月期第1四半期	3,703	283	5,287	29,210
(参考)19年2月期	8,760	14,517	5,666	19,681

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における総資産は、1,079 億 23 百万円となり、前連結会計年度比 66 億 65 百万円の増加となりました。その主な要因は、平成 19 年 3 月 1 日に株式会社ジャパンを完全子会社とする株式交換を実施したことによるものであります。

なお、純資産は 614 億 31 百万円となり、前連結会計年度比 2 億 99 百万円の増加となりました。また、自己資本比率は 56.9% となり、前連結会計年度より 4.3 ポイント改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間におきましては、新規12店舗の出店に伴う有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出及び前期分確定納税の支払による支出があったものの、売上が順調に推移したため、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末より42億39百万円増加し239億20百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は53億1百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の30億69百万円、及び仕入債務の増加54億91百万円等の資金増加要因に対し、たな卸資産の増加17億54百万円、法人税等の支払27億59百万円等の資金減少要因を反映したものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は6億9百万円となりました。これは、主に12店舗出店による有形固定資産の取得による支出4億98百万円、出店準備中の店舗案件を含めて差入保証金等の支出が1億41百万円あったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は4億55百万円となりました。これは、主に配当金4億35百万円の支払いを行ったことによるものであります。

[参 考]

平成 20 年 2 月期の業績予想（平成 19 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 2 月 29 日）

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
中 間 期	115,500	6.1	5,500	10.3	3,000	48.7
通 期	234,000	7.7	11,850	17.4	6,500	62.5

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 102円60銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 20 年 2 月期の見通しにつきましては、景気は底堅く推移するものの、個人消費は弱含みで推移する可能性があり、加えて小売業界においては、出店競争や価格競争の激化など、厳しい状況が継続するものと思われまます。

このような厳しい状況のなかで、当社は、グループとしての連携を強化し、引き続き積極的な店舗展開を推進するとともに、『医療提供施設』としての専門性を追求し質を高めていくことにより、連結ベースの売上高は、中間期で 1,155 億円、通期で 2,340 億円を目指してまいります。

また、経常利益につきましては、関東などへの出店エリア拡大にともなう人件費、地代家賃等販管費の増加や、教育投資の増加が見込まれておりますが、グループとしてのシナジー効果を活かし、売上総利益の増加、販管費の抑制を推し進めていくことにより、連結ベースの経常利益は、中間期で 55 億円、通期で 118 億 50 百万円を目指してまいります。

以上の結果、最終損益は、中間期 30 億円、通期 65 億円を目指してまいります。

なお、当第 1 四半期においては、期初計画を上回って推移しておりますが、平成 19 年 4 月 13 日に発表いたしました上記業績予想に関しましては、現時点では変更はなく、今後の業績動向により、業績予想と実績の乖離幅が大きくなる場合に、適宜、修正発表いたします。

業績の見通しにつきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・当社営業地域の経済状況の急激な変動
- ・薬事法・大規模店舗立地法等の各種規制の大幅な変更
- ・薬剤師有資格者の労働市場における需給関係の急激な変動 など

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成20年2期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	34,920	29,460	5,460	18.5	30,922
売掛金	3,161	2,525	635	25.2	2,709
たな卸資産	27,307	25,739	1,568	6.1	25,552
その他	4,647	3,968	678	17.1	4,448
流動資産合計	70,037	61,694	8,343	13.5	63,633
固定資産					
1 有形固定資産					
建物	14,619	14,350	269	1.9	14,548
土地	6,060	6,066	6	0.1	5,965
その他	1,546	1,539	6	0.4	1,598
有形固定資産合計	22,225	21,956	269	1.2	22,113
2 無形固定資産					
のれん	1,478	-	-	-	-
連結調整勘定	-	1,879	-	-	1,577
その他	1,810	1,714	95	5.6	1,751
無形固定資産合計	3,289	3,594	305	8.5	3,329
3 投資その他の資産					
差入保証金	9,660	8,510	1,149	13.5	9,523
その他	2,711	2,505	206	8.2	2,659
投資その他の資産合計	12,371	11,015	1,355	12.3	12,182
固定資産合計	37,886	36,566	1,320	3.6	37,625
資産合計	107,923	98,260	9,663	9.8	101,258
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	28,637	26,114	2,522	9.7	23,130
1年内返済予定 長期借入金	2,000	-	2,000	-	2,000
賞与引当金	765	603	162	26.9	161
その他	9,158	6,763	2,395	35.4	9,733
流動負債合計	40,561	33,481	7,080	21.1	35,025
固定負債					
長期借入金	3,000	5,000	2,000	40.0	3,000
退職給付引当金	921	731	190	26.1	871
役員退職引当金	621	574	47	8.2	611
負ののれん	777	-	777	-	-
その他	609	693	84	12.1	617
固定負債合計	5,930	6,998	1,068	15.3	5,101
負債合計	46,491	40,480	6,011	14.9	40,126

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成20年2期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	15,434	15,434	-	-	15,434
2 資本剰余金	24,632	17,677	6,954	39.3	17,677
3 利益剰余金	21,341	17,332	4,009	23.1	20,121
4 自己株式	13	0	13	-	0
株主資本合計	61,394	50,444	10,950	21.7	53,233
評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	25	14	11	76.0	21
2 繰延ヘッジ損益	11	6	4	76.6	16
評価・換算差額等合計	37	21	16	76.2	37
少数株主持分	-	7,314	7,314	-	7,861
純資産合計	61,431	57,780	3,651	6.3	61,132
負債、純資産合計	107,923	98,260	9,663	9.8	101,258

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成20年2期 第1四半期)	前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成19年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	57,438	51,713	5,725	11.1	217,229
売上原価	42,741	38,725	4,015	10.4	162,478
売上総利益	14,697	12,988	1,709	13.2	54,751
販売費及び一般管理費	11,949	10,897	1,051	9.6	45,500
給与手当	4,348	4,060	288	7.1	18,403
賃借料	2,558	2,378	180	7.6	9,791
その他	5,041	4,458	582	13.1	17,305
営業利益	2,748	2,090	658	31.5	9,250
営業外収益	473	380	92	24.3	1,705
営業外費用	196	284	87	30.9	865
経常利益	3,025	2,186	838	38.4	10,090
特別利益	75	4	70	-	85
特別損失	30	53	23	43.6	1,541
税金等調整前四 半期(当期)純利 益	3,069	2,137	932	43.6	8,634
税金費用	1,371	986	385	39.0	3,858
少数株主利益	-	179	179	-	775
四半期(当期)純利益	1,698	972	726	74.7	4,000

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成20年2期 第1四半期)	前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期)	(参考) 平成19年2月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,069	2,137	8,634
減価償却費	466	446	1,911
減損損失	-	-	667
前期損益修正損	-	-	635
のれん償却額	98	-	-
連結調整勘定償却額	-	99	394
負ののれん償却額	40	-	-
賞与引当金の増減額(減少：)	604	483	41
退職給付引当金の増減額(減少：)	50	54	194
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	9	9	47
貸倒引当金の増減額(減少：)	-	-	38
投資損失引当金の増減額(減少：)	1	-	1
受取利息及び受取配当金	23	16	111
広告用器具受贈益	40	-	205
支払利息	5	5	22
固定資産売却益	-	-	12
固定資産売却損	-	-	6
固定資産除却損	5	44	114
売上債権の増減額(増加：)	452	278	462
たな卸資産の増減額(増加：)	1,754	3,049	2,863
仕入債務の増減額(減少：)	5,491	5,434	2,476
役員賞与支払額	-	9	9
その他	564	91	494
小計	8,056	5,452	12,015
利息及び配当金の受取額	8	4	54
利息の支払額	4	6	22
法人税等の支払額	2,759	1,746	3,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,301	3,703	8,760
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金及び定期積金の預入れによる支出	-	107	22,367
定期預金及び定期積金の払戻による収入	241	801	12,069
有形固定資産の取得による支出	498	511	2,594
有形固定資産の売却による収入	-	-	141
無形固定資産の取得による支出	139	17	251
無形固定資産の売却による収入	-	-	1
差入保証金による支出	141	217	1,517
差入保証金の返還による収入	71	76	367
その他の投資増減額(増加：)	143	307	365
投資活動によるキャッシュ・フロー	609	283	14,517

	当四半期 (平成20年2期 第1四半期)	前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期)	(参考) 平成19年2月期
区 分	金 額	金 額	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れの返還による支出	-	5,000	5,000
割賦債務等の支出	10	15	54
配当金の支払額	367	204	474
少数株主への配当金の支払額	68	68	136
その他	8	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	455	5,287	5,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3	22
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	4,239	1,871	11,400
現金及び現金同等物の期首残高	19,681	31,081	31,081
現金及び現金同等物の期末残高	23,920	29,210	19,681

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期(平成20年2月期第1四半期)

(単位:百万円)

	ドラッグ ストア事業	ディスカун トストア事業	計	消去又は全社	連結
売 上 高	39,723	17,679	57,403	35	57,438
営 業 費 用	37,505	17,166	54,672	18	54,690
営 業 利 益	2,218	512	2,730	17	2,748

前年同四半期(平成19年2月期第1四半期)

(単位:百万円)

	ドラッグ ストア事業	ディスカун トストア事業	計	消去又は全社	連結
売 上 高	33,733	17,980	51,713	-	51,713
営 業 費 用	32,068	17,492	49,561	61	49,623
営 業 利 益	1,664	487	2,152	61	2,090

5. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(要約)連結株主資本等変動計算書(自平成19年3月1日 至平成19年5月31日) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年2月28日残高	15,434	17,677	20,121	0	53,233	37	7,861	61,132
第1四半期中の変動額								
新株の発行		6,954			6,954			6,954
剰余金の配当			478		478			478
四半期純利益			1,698		1,698			1,698
自己株式の取得				13	13			13
株主資本以外の項目の第1四半期中の変動額(純額)						0	7,861	7,861
第1四半期中の変動額合計	-	6,954	1,220	13	8,161	0	7,861	299
平成19年5月31日残高	15,434	24,632	21,341	13	61,394	37	-	61,431

前期(要約)連結株主資本等変動計算書(自平成18年3月1日 至平成19年2月28日) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年2月28日残高	15,434	17,677	16,608	0	49,720	31	7,212	56,964
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当(注)			239		239			239
剰余金の配当			239		239			239
役員賞与(注)			9		9			9
当期純利益			4,000		4,000			4,000
自己株式の取得				0	0			0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						5	649	654
連結会計年度中の変動額合計	-	-	3,512	0	3,512	5	649	4,167
平成19年2月28日残高	15,434	17,677	20,121	0	53,233	37	7,861	61,132

(注) 平成18年5月の定時株主総会における利益処分項目であります。

〔商品群別売上情報〕

・ドラッグストア事業

	当四半期 (平成20年2期 第1四半期)		前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
調 剤	3,464	8.7	2,798	8.3
ヘルスケア	11,371	28.6	9,884	29.3
ビューティケア	11,800	29.7	9,331	29.4
ホームケア	7,114	17.9	5,901	17.5
ベビーケア	1,913	4.8	1,703	5.1
その他	4,059	10.3	3,513	10.4
合 計	39,723	100.0	33,733	100.0

・ディスカウントストア事業

	当四半期 (平成20年2期 第1四半期)		前年同四半期 (平成19年2期 第1四半期)	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
食 品	9,945	56.3	9,672	53.8
日用雑貨	4,672	26.4	4,551	25.3
スホ°-ツ・レシ`ャ-用品	1,633	9.2	2,075	11.6
家電製品	750	4.3	881	4.9
DIY用品	285	1.6	331	1.8
その他	391	2.2	468	2.6
合 計	17,679	100.0	17,980	100.0

〔売上高の対前年同月比の推移〕

・連結

(単位：%)

月	平成 19 年 2 月期									平成 20 年 2 月期		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全 店	+9.0	+8.8	+13.2	+13.3	+16.2	+10.6	+9.5	+9.1	+13.4	+12.1	+10.1	+11.1
既 存 店	+1.4	+2.0	+6.5	+5.3	+8.4	+3.7	+3.4	+2.7	+6.7	+5.9	+4.3	+5.3

・ドラッグストア事業

(単位：%)

月	平成 19 年 2 月期									平成 20 年 2 月期		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全 店	+14.8	+16.3	+20.4	+21.0	+25.5	+15.9	+18.6	+16.4	+21.3	+18.3	+17.0	+18.4
既 存 店	+4.3	+5.2	+9.3	+8.0	+13.4	+4.5	+7.8	+5.1	+10.0	+8.0	+7.1	+8.2

・ディスカウントストア事業

(単位：%)

月	平成 19 年 2 月期									平成 20 年 2 月期		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全 店	-0.7	-3.4	+1.9	+0.1	-0.5	+0.9	-5.1	-3.7	-1.4	+0.3	-3.0	-2.2
既 存 店	-3.3	-3.8	+2.1	+0.5	+0.1	+2.1	-3.8	-1.6	+0.5	+2.0	-0.9	+0.1

(注) 1. 上記の数字は、当社営業速報に基づいて作成されております。

2. 既存店は開店後 13 ヶ月を経過した店舗を指しております。

〔所在地別店舗数〕

		平成 19 年 2 月末現在			平成 19 年 5 月末現在			
		スギ薬局	ジャパン	合 計	スギ薬局	ジャパン	合 計	
関 東	茨 城 県	-	-	-	1	-	1	
	群 馬 県	-	1	1	1	1	2	
	埼 玉 県	11	21	32	12	20	32	
	千 葉 県	2	-	2	2	-	2	
	東 京 都	1	4	5	1	4	5	
	小 計	14	26	40	17	25	42	
	中 部	岐 阜 県	35	-	35	34	-	34
		静 岡 県	1	-	1	1	-	1
		愛 知 県	214	-	214	212	-	212
		三 重 県	40	-	40	39	-	39
小 計	290	-	290	286	-	286		
関 西	滋 賀 県	16	2	18	15	3	18	
	京 都 府	9	14	23	9	14	23	
	大 阪 府	25	56	81	26	55	81	
	兵 庫 県	10	38	48	14	38	52	
	奈 良 県	4	6	10	4	6	10	
小 計	64	116	180	68	116	184		
総 店 舗 数	368	142	510	371	141	512		